

エコアクション21

2015年度 環境活動レポート



対象期間 平成27年10月1日 ～ 平成28年9月30日

発行日 平成28年10月25日

株式会社 成 田



1.組織の概要と対象範囲

事業所名 株式会社 成 田
代表者 代表取締役 福井 秀治
所在地 本 社 / 兵庫県洲本市中川原町中川原1387番地の1
TEL 0799-28-0101 FAX 0799-28-0202
津 名 支 店 / 兵庫県淡路市志筑2332番地8
南あわじ支店 / 兵庫県南あわじ市津井1697番地
URL <http://www.awaiisland.com>
E-mail narita@atc.ne.jp

環境管理責任者 専務取締役 福井 利和
環境管理担当者 常務取締役 福井 啓太 総務課 望月 直美

認証・登録の対象組織・活動 登録組織名 株式会社 成 田 全組織・全活動
対象事業所 本社・資材倉庫、津名支店、南あわじ支店
事業内容 土木工事業、建築工事業
とび・土工工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業
塗装工事業、造園工事業、水道施設工事業、
解体工事業、電気工事業、管工事業、消防施設工事業

事業規模 年間売上高 33613万円 (2015/10 ~2016/9)
総従業員 20 名 (平成28年9月30日 現在)

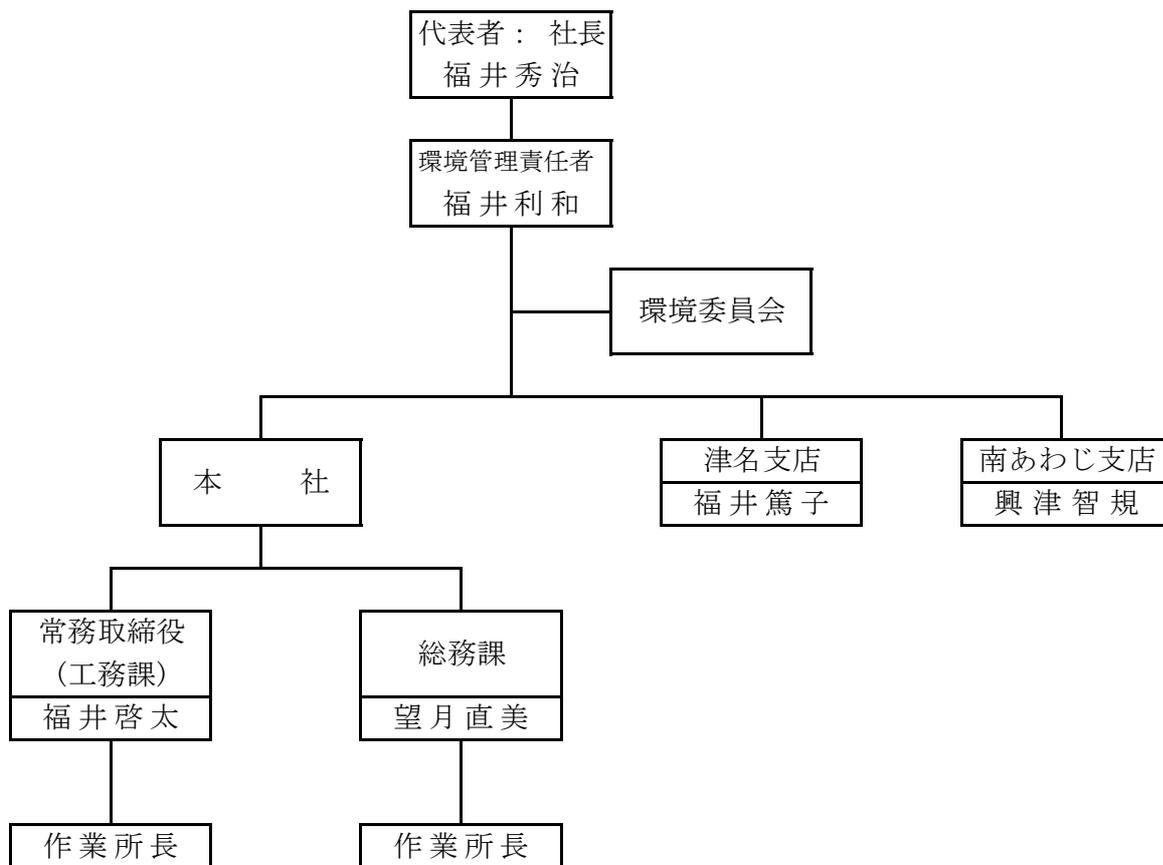
	本社	資材倉庫	津名支店	南あわじ支店	合計
総従業員数	20 人	- 人	1人(兼務)	1人(兼務)	20 人
延べ床面積	487 m ²	159.5 m ²	15 m ²	12 m ²	514 m ²

従業員数については、期末現在とする。

建設現場等の概要 (2015/10 ~ 2016/9)
土木工事 5 件
舗装工事 34 件
他 33 件

事業年度 10月1日 ~ 翌年 9月30日

【 株式会社 成田 環境経営システム推進組織図 】



【 適用範囲 】

株式会社 成田本社、津名支店、南あわじ支店、及び建設現場

環境方針

【基本理念】

当社の企業目標である「住みよい街づくりで、人と地球のしあわせに貢献する」を環境の面から実践するために、事業活動が地球環境に与える影響を認識し、環境負荷の低減に努める。

【行動指針】

1. [環境負荷の低減]

継続的な環境負荷の低減の為に下記の事項に取り組む。

- ① 電力及び燃料(ガソリン・軽油)の使用による二酸化炭素排出量の削減
- ② 排水量の削減
- ③ 廃棄物排出量の削減(一廃・産廃)
- ④ 事務用品等のグリーン購入・促進
- ⑤ 環境に配慮した工法の採用・促進

2. [コンプライアンス]

環境保全に関わる法令・規則・条例等を遵守する。

3. [CSR活動]

行政・関係団体と共に、地域の環境保全活動に対し積極的に参画し、社会貢献活動を推進する。

4. 本方針を全社員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。

制定日 2011年6月1日
株式会社 成田
代表取締役 福井 秀治

3. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2013年度	2014年度	2015年度
		全社	全社	全社
電力の二酸化炭素排出係数		0.516	0.522	0.523
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	135,734	108,346	110,242
廃棄物排出量	トン	2600.356	1391.93	797.50
一般廃棄物量排出	トン	1.146	0.402	0.366
産業廃棄物排出量	トン	2,599.21	1,391.53	797.13
総排水量	m ³	448.8 m ³	430.5 m ³	451.1 m ³

4. 環境目標とその実績

当社における環境目標と実績は以下の通りです。

No.	環境目標	環境目標	基準年度 2009年度 実績	2015年度			2016年度 目標	2017年度 目標
				目標	実績	達成率		
1	CO ₂ 排出量 削減	電力使用量の削減 (事務所及び 現場事務所)	5.31 万kWh 27771 kg-CO ₂	△ 4% 5.10 万kWh 26673 kg-CO ₂	3.27 万kWh 17102 kg-CO ₂	156% ○	△ 4% 5.10 万kWh 26622 kg-CO ₂	△ 5% 5.04 万kWh 26309 kg-CO ₂
-2	燃料使用量の 削減	自動車燃料の削減 (ガソリン)	14506.98 L 33680 kg-CO ₂	△ 4% 13926.70 L 32333 kg-CO ₂	9990.56 L 23195 kg-CO ₂	139% ○	△ 4% 13926.70 L 32333 kg-CO ₂	△ 5% 13781.63 L 31996 kg-CO ₂
-3	燃料使用量の 削減	ダンプ・重機燃料の 削減(軽油)	35511.43 L 91974 kg-CO ₂	△ 4% 34090.97 L 87139 kg-CO ₂	26475.14 L 68570 kg-CO ₂	129% ○	△ 4% 34090.97 L 88295 kg-CO ₂	△ 5% 33735.86 L 87376 kg-CO ₂
2	総排水量の 削減	節 水	481.2 m ³	△ 4% 462.0 m ³	451.1 m ³	102% ○	△ 4% 462.0 m ³	△ 5% 457.1 m ³
3	廃棄物 排出量削減 (一般廃棄物)	一般廃棄物の削減	0.764 t	△ 2% 0.749 t	0.366 t	205% ○	△ 2% 0.749 t	△ 3% 0.741 t
4	廃棄物 排出量削減 (産業廃棄物)	産業廃棄物の リサイクル率向上 (AS・Con除く)	リサイクル率 99.94%	リサイクル率 100.00%	リサイクル率 89.84%	90% ×	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%
5	グリーン 購入	事務用品の グリーン購入の促進	69%	15% 79%	55%	69% ×	15% 79%	15% 79%
6	取替え時には 省エネ機器の 拡大	省エネ機器の 拡大促進 (グリーン購入)	取替え時 促 進	取替え時 促 進	2箇所	100% ○	取替え時 促 進	取替え時 促 進
7	環境に配慮した 工法の受注 の拡大	振動・騒音に 配慮した 工法等の提案	0 件	3工事増加 3 件	2 件	67% ×	3工事増加 3 件	3工事増加 3 件
8	C S R 活動	事業所周辺の清掃 現場周辺の清掃	0 件	5工事増加 5 件	7 件	140% ○	5工事増加 5 件	6工事増加 6 件

注：① 事務所：本社、津名支店、南あわじ支店全てを含む（津名支店並びに南あわじ支店は全体の1%未満であるため）

② No.4 産業廃棄物のリサイクル率： $52.64 \div 58.59 \times 100 = 89.84 \%$

③ グリーン購入率： $189,055 \div 344,652 = 54.85 \%$

5. 主要な環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

No.	環境目標 (環境方針との関連)	環境活動計画の概要	取組結果の評価 (2015年度)		次年度の取組内容
1	二酸化炭素排出量削減		目標： 147.30t-CO2 実績： 91.77t-CO2 達成率： 160%	目標値を達成している。	現状を維持し、排出量の削減を推進する。
-1	電力使用量の削減 × 0.523 (CO ₂ 排出量削減)	① 不在時の消灯 ② 不在時の事務機器の電源のオフ ③ 無人状態でのエアコンの運転停止 ④ エアコンフィルターの清掃	目標： 5.10万kWh 実績： 3.27万kWh 達成率： 156%	全てを省エネやLED等への変更は予算上厳しいが、電灯、PC等をこまめに消すなどの努力で目標は達成出来ている。	省エネ機器の導入やLED化を進めたい。
-2	自動車燃料(ガソリン)の削減 × 0.0671 × 34.6 (CO ₂ 排出量削減)	① 不要積載物の荷降し ② エコドライブの実行 ③ タイヤの空気圧の確認 ④ 車両点検の実施	目標： 13926.7L 実績： 9990.6L 達成率： 139%	目標を達成出来ている。アイドリングの停止等エコドライブが進んでいると思われる。	アイドリング停止や急発進、急加速を行わない様に指示し、それが定着するようミーティング等で確認する。
-3	ダンプ・重機燃料(軽油)の削減 × 0.0687 × 37.7 (CO ₂ 排出量削減)	① 不要積載物の荷降し ② エコドライブの実行 ③ タイヤの空気圧の確認 ④ 車両点検の実施	目標： 34091.0L 実績： 26475.1L 達成率： 129%	目標を達成出来ている。不作業時にエンジンの回転数を下げたり、停止することが定着してきたと思われる。	一層エコドライブが定着するようミーティング等で指示する。
2	節水 (総排水量削減)	① 漏水点検 ② 不要な水を流したままの作業を行わない	目標： 462m ³ 実績： 451.1m ³ 達成率： 102%	側溝清掃の現場が少なかった為達成出来た。	現場条件に大きく左右されるが、事務所での節水を一層進める。
3	一般廃棄物の削減 (廃棄物排出量削減)	① 分別回収 ② コピー用紙の削減と裏紙使用の徹底 ③ 詰替え商品の購入	目標： 0.749t 実績： 0.366t 達成率： 205%	ペーパーのリサイクル率が昨年以上だったのが主な要因。又、現場から回収した缶やペットボトルもリサイクルに回すようになったのも一因である。	リサイクルへの分別を今よりさらに強化し、徹底する。
4	産業廃棄物の削減 (廃棄物排出量削減)	① 分別処理の徹底 ② マニフェスト管理	目標： 100.00% 実績： 90% 達成率： 90%	発注者より混合廃棄物で処理する事を指示される場合があるので100%の達成は非常に困難である。	昨年同様、マニフェストで管理をする。
5	事務用品のグリーン購入拡大 (グリーン購入)	① 事務用品等はグリーン対象製品の積極的な購入	目標： 79% 実績： 55% 達成率： 69%	グリーン商品購入拡大が遅れている。一番の原因は値段である。	引続き、ネット等で安価なグリーン商品がないか調べ、グリーン商品の購入を進める。
6	省エネ機器の設置推奨 (製品・サービスの環境改善)	① 取替え時の促進 複合機2台	目標： 取替時促進 実績： 2台 達成率： 100%	省エネ機器の選定を行い機器2台の入替をした。	今後も機器の入替え時は省エネタイプの購入を進める。
7	環境に配慮した工法 (振動・騒音に配慮した工法等の提案)	① 環境に配慮した施工法を課題とした提案	目標： 3件 実績： 2件 達成率： 67%	なかなか採用されない場合が多い。既存工法の方が低価格で安心感があるのが要因と思われる。	この工法の営業活動を一層進める。
8	CSR活動 (事業所周辺の清掃)	① 社会貢献活動の推進	目標： 5件 実績： 7件 達成率： 140%	地域の活動に積極的に参加・協力している。	今後もCSR活動を積極的に進める。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認、違反・訴訟等の有無

1. 当社に適用される環境関連法規の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

No.	適用される法律名	遵守すべき要求事項	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・産業廃棄物処理業者と委託契約 ・産業廃棄物管理票の交付と管理	○
2	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	・対象建設工事の届出等 ・分別解体の実施と再資源化 ・現場ごとの標識の掲示	○
3	騒音規制法	・特定建設作業実施届出市町村長に7日前までに	○
4	振動規制法	・特定建設作業実施届出市町村長に7日前までに	○
5	騒音規制・振動規制 県条例	・特定建設作業実施届出市町村長に7日前までに	○
4	浄化槽法	・保守点検 ・清掃 ・定期検査	○
5	再生資源利用省令	・指定建設資材と再生資源の利用量の把握等による計画の作成と実施記録の保存(1年間)	○
6	指定副産物利用 促進省令	・指定副産物に係る搬出量と再資源化施設への搬出量等計画の作成	○
7	オフロード法	・適合証明 ・平成18年4月施行前販売証明 ・「2011年規制」 ・新車規制で平成23年10月以降	○
8	労働安全衛生法	・特定自主検査の実施	○
9	道路交通法	・道路使用許可を所轄警察署長に申請	○
10	水路業務法	・届出書を海上保安庁長官に提出	○
11	消防法	・消火器の有効期限	○
12	自治体との災害応援協定	・災害時に応援派遣(2015.12.11出動実績有り)	○
13	グリーン購入法	・環境物品の購入	○
14	フロン排出抑制法	・業務用エアコン(自主簡易点検)	○

(遵守確認日 平成28年10月20日)

○ 遵守

× 不遵守

2. 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生しておりません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

今期はエコアクション21を実施してから6年目になります。達成率が低いものの中で、「産業廃棄物の削減」は今期90%だった。発注者よりコスト削減から混合廃棄物での処理を指示されることが年に数回あるので100%の達成率は非常に難しい。今後、少量の場合は自主的に分別して処理をするよう現場に指示をした。

「事務用品のグリーン購入拡大」は達成率が69%だった。前期はグリーン商品の有無をよく確認せずに発注した為達成率が36%と低かったが、今期はそれを意識して購入した。ただ、価格が高くて購入出来ないこともあったので目標には届かなかった。今後は高価格で購入できなかった商品の仕入先の変更も視野に入れた調達を進めたい。

「環境に配慮した工法」は今期2件あり達成率は67%だった。来期も当社の特許であるエコ舗装の販売の営業活動を強力的に推進していきたい。いずれにしても今後もこのエコアクション21を運用しながら、当社の事業活動のあらゆる分野で、環境に配慮した健全な会社運営を推進していく。